

平成22年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		兵庫県		市町村類型	Ⅲ－２		指定団体等の指定状況		区分	平成22年度(千円)	平成21年度(千円)	区分	平成22年度(千円・%)	平成21年度(千円・%)				
市町村名	神戸市	地方交付税種地	2-2		2-2		財政健全化等	×	歳入総額	9,673,684	8,759,022	実質収支比率	2.8	3.2				
							財源超過	×	歳出総額	9,413,899	8,569,842	経常収支比率	89.8	93.2				
							首都	×	歳入歳出差引	259,785	189,180	(※1)	(99.9)	(100.3)				
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	106,589	21,365	標準財政規模	5,436,263	5,233,675				
人口	22年国調(人)	12,289	17年国調	12年国調			実質収支	×	実質収支	153,196	167,815	財政力指数	0.50	0.52				
							中部	×	単年度収支	-14,619	81,995	公債費負担比率	19.4	22.2				
							過疎	×	積立金	356,151	59,902	健全化判断比率	-	-				
							山振	○	繰上償還金	87,806	191,488	実質赤字比率	-	-				
住民基本台帳人口	23.03.31(人)	12,752	第1次	225	196		低開発	×	積立金取崩し額	-	132,269	連結実質赤字比率	-	-				
							指数表選定	○	実質単年度収支	429,338	201,116	実質公債費比率	21.2	22.5				
									基準財政収入額	1,894,036	1,955,151	将来負担比率	108.2	170.8				
									基準財政需要額	3,927,525	3,917,847	資金不足比率（※3）						
面積（km ² ）	202.27		第2次	37.5	42.3				標準税収入額等	2,444,051	2,525,210							
人口密度（人/km ² ）	61								経常経費充当一般財源等	4,900,245	4,901,869							
世帯数（世帯）	3,813								歳入一般財源等	6,607,325	6,367,475							
職員の状況																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	10,540,042	10,536,864							
	市区町村長	1	5,472		一般職員	126	438,228	3,478	うち公的資金	4,334,443	4,805,415							
	副市区町村長	1	5,301		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額（支出予定額）	44,016	1,588,294							
	収入役	-	-		うち技能労務職員	12	34,512	2,876	収益事業収入	-	-							
	教育長	1	4,939		教育公務員	17	57,477	3,381	土地開発基金現在高	34,952	34,952							
	議会議長	1	3,000		臨時職員	-	-	-	積立金	675,543	319,392							
	議会副議長	1	2,250		合計	143	495,705	3,466	減債基金	25,417	25,249							
	議会議員	14	2,100		ラスバイレス指数			98.1	現在高	1,020,298	1,007,448							
一般会計等の一覧																		
一般会計等の一覧			事業会計の一覧			公営企業（法適）の一覧			公営企業（法非適）の一覧			関係する一部事務組合等一覧			地方公社・第三セクター等一覧			
項番	会計名		項番	会計名		項番	会計名		項番	会計名		項番	組合等名		項番	団体名		
(1)	一般会計		(6)	国民健康保険事業特別会計		(10)	水道事業会計		(13)	老人訪問看護事業特別会計		(15)	中播衛生施設事務組合		(23)	(株) 神崎フード		
(2)	介護療育支援事業特別会計		(7)	介護保険事業特別会計		(11)	下水道事業会計		(14)	土地開発事業特別会計		(16)	中播北部行政事務組合		(24)	(株) グリーンエコー		
(3)	産業廃棄物処理事業特別会計		(8)	後期高齢者医療事業特別会計		(12)	公立神崎総合病院事業会計					(17)	中播農業共済事務組合		(25)	兵庫県町土地開発公社		
(4)	寺前地区振興基金特別会計		(9)	老人保健事業特別会計								(18)	兵庫県市町村職員退職手当組合					
(5)	長谷地区振興基金特別会計											(19)	兵庫県町議会議員公務災害補償組合					
												(20)	兵庫県市町交通災害共済組合					
												(21)	兵庫県後期高齢者医療広域連合（一般会計）					
												(22)	兵庫県後期高齢者医療広域連合（特別会計）					

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	2,151,898	22.2	2,151,898	43.9
地方譲与税	96,100	1.0	96,100	2.0
利子割交付金	5,687	0.1	5,687	0.1
配当割交付金	3,657	0.0	3,657	0.1
株式等譲渡所得割交付金	1,216	0.0	1,216	0.0
地方消費税交付金	106,855	1.1	106,855	2.2
ゴルフ場利用税交付金	17,348	0.2	17,348	0.4
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	31,719	0.3	31,719	0.6
軽油引取税交付金	-	-	-	-
地方特例交付金	32,064	0.3	32,064	0.7
児童手当及び子ども手当特例交付金	15,996	0.2	15,996	0.3
減収補填特例交付金	16,068	0.2	16,068	0.3
地方交付税	2,987,004	30.9	2,439,904	49.7
普通交付税	2,439,904	25.2	2,439,904	49.7
特別交付税	547,100	5.7	-	-
（一般財源計）	5,433,548	56.2	4,886,448	99.6
交通安全対策特別交付金	2,841	0.0	2,841	0.1
分担金・負担金	135,414	1.4	-	-
使用料	250,469	2.6	9,173	0.2
手数料	8,610	0.1	-	-
国庫支出金	1,602,296	16.6	-	-
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-
都道府県支出金	626,677	6.5	-	-
財産収入	13,963	0.1	6,125	0.1
寄附金	-	-	-	-
繰入金	39,627	0.4	-	-
繰越金	189,180	2.0	-	-
諸収入	182,251	1.9	475	0.0
地方債	1,188,808	12.3	-	-
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	552,308	5.7	-	-
歳入合計	9,673,684	100.0	4,905,062	100.0

地方税の状況（単位 千円・％）			
区分	収入済額	構成比	超過課税分
普通税	2,151,898	100.0	-
法定普通税	2,151,898	100.0	-
市町村民税	530,538	24.7	-
個人均等割	29,509	1.4	-
所得割	424,454	19.7	-
法人均等割	26,600	1.2	-
法人税割	49,975	2.3	-
固定資産税	1,535,373	71.3	-
うち純固定資産税	1,533,493	71.3	-
軽自動車税	31,289	1.5	-
市町村たばこ税	54,201	2.5	-
鉱産税	497	0.0	-
特別土地保有税	-	-	-
法定外普通税	-	-	-
目的税	-	-	-
法定目的税	-	-	-
入湯税	-	-	-
事業所税	-	-	-
都市計画税	-	-	-
水利地益税等	-	-	-
法定外目的税	-	-	-
旧法による税	-	-	-
合計	2,151,898	100.0	-

区分		平成22年度		平成21年度	
徴収率 (%)	合計	99.1	96.9	99.0	96.9
	市町村民税	98.9	95.5	98.6	95.9
	純固定資産税	99.2	97.3	99.1	97.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	1,430,591	実質収支	100,116
病院	428,100	再差引収支	90,838
下水道	416,000	加入世帯数（世帯）	1,691
その他	94,000	被保険者数（人）	3,053
簡易水道	70,455	被保険者	94
国民健康保険	65,070	1人当り	91
その他	356,966	保険税（料）収入額	273
		国庫支出金	
		保険給付費	

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等	
議会費	83,303	0.9	-	83,303	
総務費	1,234,065	13.1	29,737	1,016,181	
民生費	1,226,508	13.0	22,181	663,178	
衛生費	1,232,715	13.1	1,929	1,180,213	
労働費	31,819	0.3	-	53	
農林水産業費	691,111	7.3	310,942	262,561	
商工費	149,725	1.6	4,021	140,830	
土木費	815,628	8.7	238,079	611,025	
消防費	222,892	2.4	28,588	185,077	
教育費	2,363,321	25.1	1,602,753	917,018	
災害復旧費	10,311	0.1	-	5,489	
公債費	1,352,501	14.4	-	1,282,612	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	9,413,899	100.0	2,238,230	6,347,540	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	3,323,167	35.3	2,657,769	2,561,334	46.9
人件費	1,376,774	14.6	1,205,176	1,202,430	22.0
うち職員給	907,245	9.6	768,306	-	-
扶助費	593,919	6.3	170,008	164,125	3.0
公債費	1,352,474	14.4	1,282,585	1,194,779	21.9
内 元利償還金	1,351,593	14.4	1,281,704	1,193,898	21.9
誤 一時借入金金利子	881	0.0	881	881	0.0
その他の経費	3,842,191	40.8	3,225,376	2,338,911	42.9
物件費	1,010,375	10.7	648,862	526,170	9.6
維持補修費	9,739	0.1	6,935	6,935	0.1
補助費等	2,014,790	21.4	1,823,448	1,474,242	27.0
うち一部事務組合負担金	460,680	4.9	460,680	437,434	8.0
繰出金	411,491	4.4	359,848	331,564	6.1
積立金	390,996	4.2	381,483	-	-
投資・出資金・貸付金	4,800	0.1	4,800	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,248,541	23.9	464,395	-	-
うち人件費	371	0.0	371	-	-
普通建設事業費	2,238,230	23.8	458,906	-	-
うち補助	1,654,191	17.6	33,884	-	-
うち単独	574,459	6.1	424,042	-	-
災害復旧事業費	10,311	0.1	5,489	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	9,413,899	100.0	6,347,540	-	-

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成22年度兵庫県神河町

一般会計等の財政状況（単位：百万円）							
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	9,599	9,345	254	147	41	10,540	
2 介護療養支援事業特別会計	54	50	4	4	12	-	
3 産業廃棄物処理事業特別会計	29	28	2	2	-	-	
4 中前地区復興基金特別会計	9	9	-	-	6	-	
5 長谷地区復興基金特別会計	5	5	-	-	5	-	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							実質赤字額
計一般会計等	9,697	9,437	290	153		10,540	-3

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）									
会計名	取収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額/不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	定のうちの一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 国民健康保険事業特別会計	1,434	1,334	100	100	65	-	-	-	
2 介護保険事業特別会計	1,010	1,007	3	3	167	-	-	-	
3 後期高齢者医療事業特別会計	149	148	1	1	42	-	-	-	
4 老人保健事業特別会計	0	0	-	-	-	-	-	-	
5 水道事業会計	348	337	10	193	70	2,540	884	-	法適用企業
6 下水道事業会計	403	603	-201	153	510	7,007	5,318	-	法適用企業
7 公立神崎総合病院事業会計	3,507	3,499	8	20	428	3,038	1,300	-	法適用企業
8 老人訪問看護事業特別会計	119	98	21	21	-	-	-	-	法非適用企業
9 土地開発事業特別会計	62	62	0	31	17	-	-	-	法非適用企業
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									連結実質赤字額
計 公営企業会計等				522		12,585	7,502		-12

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）							
一部事務組合等名	取収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額/不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	定のうちの一般会計等繰入見込額
1 中播磨生活施設事務組合	668	657	11	11	-	327	52
2 中播磨北行政事務組合	848	819	28	28	-	1,883	902
3 中播磨農林漁業事務組合	316	306	11	497	-	-	-
4 兵庫県市町村職員退職手当組合	19,851	18,032	1,819	1,819	-	-	-
5 兵庫県早期議会議員公務災害補償組合	18	17	1	1	-	-	-
6 兵庫県市町交通災害共済組合	166	166	0	0	-	-	-
7 兵庫県後期高齢者医療広域連合（一般会計）	3,712	3,432	280	280	43	-	-
8 兵庫県後期高齢者医療広域連合（特別会計）	546,969	543,693	3,276	3,276	6,347	-	-
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
計 一部事務組合等				5,912		2,210	954

公債費負担の状況（千円・％）						将来負担の状況（千円・％）									
実質公債費比率（千円・％）						将来負担比率（千円・％）									
区分						将来負担比率									
元利償還金						区分									
元利償還金						平成20年度平成21年度平成22年度分母比									
満期一括償還地方債に係る年度割相当額						将来負担額									
公営企業債の元利償還金に対する繰入金						一般会計等に係る地方債の現在高									
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等						債務負担行為に基づく支出予定額									
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）						公営企業債等繰入見込額									
一時繰入金の利子						組合等負担等見込額									
合計						退職手当負担見込額									
内訳						設立法人等の負債額等負担見込額									
PF1事業に係るもの						連結実質赤字額									
いわゆる五省協定等に係るもの						組合等連結実質赤字額負担見込額									
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの						合計									
地方公務員等共済組合に係るもの						充当可能基金									
社会福祉法人の施設建設費に係るもの						充当可能特定繰入									
損失補償・債務保証の履行に係るもの						基準財政需要額算入見込額									
引き受けた債務の履行に係るもの						合計									
その他上記に準ずるもの						将来負担比率((エ)-(オ))/(イ)-(ウ)×100									
利子補給に係るもの						将来負担比率									
標準財政規模						PF1事業に係るもの									
算入公債費等の額						いわゆる五省協定等に係るもの									
分母						国営土地改良事業に係るもの									
実質公債費比率						森林総合研究所等が行う事業に係るもの									
((ア)-(ウ))/(イ)-(ウ)×100						地方公務員等共済組合に係るもの									
健全化判断比率						依頼土地の買い戻しに係るもの									
実質赤字比率						社会福祉法人の施設建設費に係るもの									
連結実質赤字比率						損失補償・債務保証の履行に係るもの									
実質公債費比率						引き受けた債務の履行に係るもの									
標準負担比率						その他上記に準ずるもの									

健全化判断比率	平成22年度(両掲)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	14.73	20.00
連結実質赤字比率	-	19.73	35.00
実質公債費比率	21.2	25.0	35.0
標準負担比率	108.2	350.0	

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。
※実質公債費比率の(ア)-(ウ)は特定財源の額を控除している。

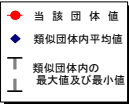
地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）										
	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1	(株) 神崎フーズ	0	62	42	-	-	-	-	-	-
2	(株) グリーンエコー	2	18	10	-	-	-	-	-	-
3	兵庫県町土地開発公社	0	37	2	-	-	-	-	-	-
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
83										
84										
85										
86										
87										
88										
89										
90										
91										
92										
93										
94										
95										
96										
97										
計	地方公社・第三セクター等			54						

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成22年度

兵庫県神戸市

人口	12,752人(H23.3.31現在)	実収	202.27千円	比率	-%
面積	202.27km ²	実支	9,673,684千円	比率	-%
人口密度	9,413.899人/km ²	実収	153,196千円	比率	21.2%
人口	153,196人	実支	5,436,263千円	比率	108.2%
人口	5,436,263人	実収	10,540,042千円	比率	
人口	10,540,042人	実支		比率	

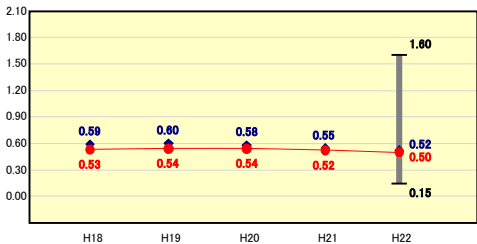


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.50]

類似団体内順位 22/62 全国平均 0.53 兵庫県平均 0.63



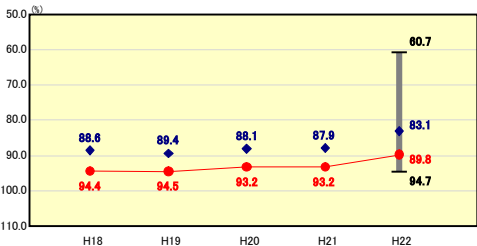
財政力指数の分析欄

水力発電所施設の償却資産の税収により、類似団体平均値並であるが、その税も年々減少しており、さらには人口減少と企業等の立地が進まない等により財政基盤が弱体化傾向にある。
今後においても行財政の集中改革プランに沿った施策の見直し等徹底した歳入の削減及び、税収の徴収強化など歳入の確保を図り財政基盤の強化に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [89.8%]

類似団体内順位 52/62 全国平均 89.2 兵庫県平均 91.8



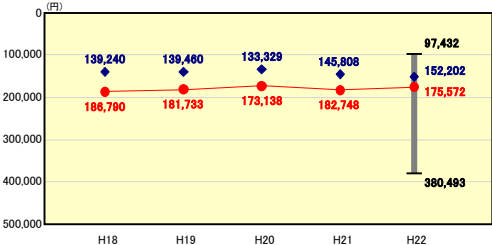
経常収支比率の分析欄

水力発電所施設の償却資産の減収により地方税は減少しているが、普通交付税と臨時財政対策債の増加により歳入の経常一般財源は増加している。一方、歳出における人件費・公債費は着実に減少している。しかし、物件費・扶助費・補助費は増加傾向となっており、歳入の経常一般財源は昨年度とほぼ同額となっている。これらの要因により比率は3.4ポイント減少しているが、依然として高い水準にあり類似団体平均を6.7ポイント上回っている。引き続き、行財政の集中改革プランに掲げたとおり新規採用の抑制による職員の減、各種手当の総点検等給与の適正化による人件費の削減、繰上償還による公債費の削減、施設の維持管理等の見直しなど徹底した取り組みを通じて比率の改善を図る。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [175,572円]

類似団体内順位 46/62 全国平均 114,985 兵庫県平均 112,143



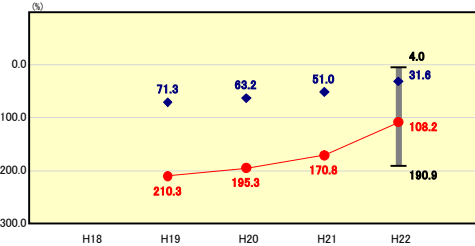
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

類似団体と比較して多額になっているのは、人件費では職員数が類似団体より多いこと、物件費における施設の維持管理経費などが多いためと考えられる。
引き続き、行財政の集中改革プランに沿い、徹底した定員管理と給与の適正化、事務事業の見直しと重複する施設の管理方法の検討などの取り組みを通じて削減していく方針である。

将来負担の状況

将来負担比率 [108.2%]

類似団体内順位 49/62 全国平均 79.7 兵庫県平均 127.7



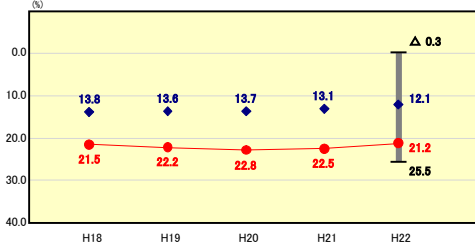
将来負担比率の分析欄

将来負担額において、公営企業債(水道・下水道・病院)の償還終了等による残高減少により、公営企業への公債費充当の繰入見込額が減少したことなどが要因となり、昨年度に比べ比率が減少している。
今後についても行財政の集中改革プラン及び公債費負担適正化計画に沿い、繰上償還を実施するとともに、新規発行債の抑制・縮小に努め、比率の改善を図る。

公債費負担の状況

実収公債費比率 [21.2%]

類似団体内順位 59/62 全国平均 10.5 兵庫県平均 12.7



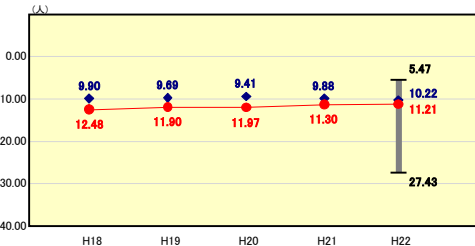
実収公債費比率の分析欄

地方債の償還のピークが過ぎたことと、これまでの繰上償還による償還金の減少及び新規発行債の抑制により、比率は昨年度に比べ1.3ポイント減少し、着実に改善している。
今後も、公債費負担適正化計画に沿い、投資的事業の計画的実施による新規発行債の抑制と繰上償還などの実行により、今後3年間(平成25年度決算)で18%未満へ改善させる。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [11.21人]

類似団体内順位 39/62 全国平均 7.24 兵庫県平均 7.02



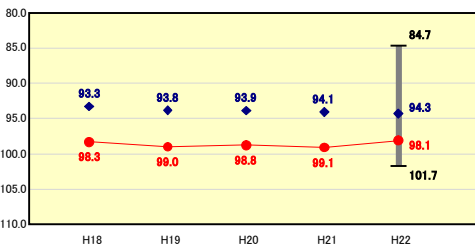
人口千人当たり職員数の分析欄

定員適正化計画の実行により、昨年度に比べ0.09人減少し、類似団体平均値との比較でも0.99人まで減少しており、着実に職員数は合併時より少なくなっている。今後も、さらに定員適正化計画に沿い適正な定員管理に努め、「平成23～26年度の4年間で12人(8%)の削減を図る。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレ指数 [98.1]

類似団体内順位 55/62 全国市平均 98.8 全国町村平均 95.3



ラスパイレ指数の分析欄

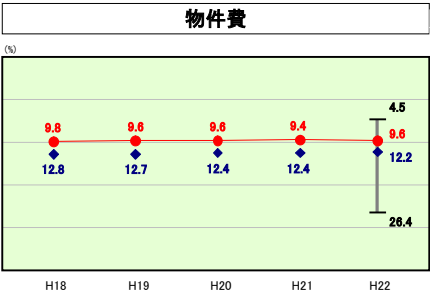
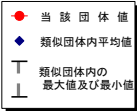
現在の一般行政職員の構成は、新規採用を最小人数としているため高齢化の傾向にあり、また管理職の多くが高卒者であることから指数を押し上げる要因となっている。その結果、類似団体平均より3.8ポイント上回り高い数値となっている。今後は、より一層の給与の適正化に努めることにより改善を図る。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

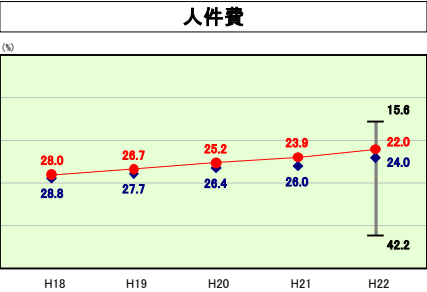
人面	口	12,752	人(H23.3.31現在)	実	実	赤	比	率	-	%
歳入	積	202.27	k㎡	通	結	実	赤	比	-	%
歳出	額	9,673,684	千円	算	算	負	費	比	21.2	%
実収	支	9,413,899	千円	得	来	担	比	率	108.2	%
標準	現	153,196	千円	市	町	村	類	型	H18	Ⅱ-2
地方	高	5,436,263	千円	(	年	度	毎	)	H21	Ⅱ-2
		10,540,042	千円						H19	Ⅱ-2
									H20	Ⅱ-2
									H21	Ⅱ-2

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



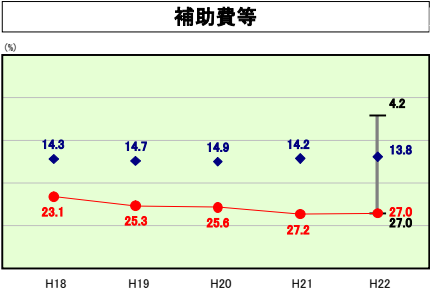
物件費の分析欄

類似団体平均値より2.6ポイント低い水準となっているが、依然として各施設の維持管理経費が増加傾向にある。今後は、集中改革プランに掲げた経費削減に向けての事務事業の更なる見直し、重複する施設の管理方法の検討などの取り組みにより、物件費全体の縮減に努める。



人件費の分析欄

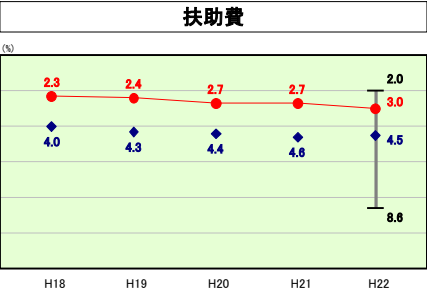
類似団体平均値より2.0ポイント低い水準となっているが、今後においても集中改革プランと定員適正化計画に掲げた取り組みにより改善を図っていく。具体的には、各種手当の総点検等による給与の適正化と新規採用の抑制による職員数の減により、「平成23～26年度の4年間で12人(8%)」の削減を行い、人件費の削減に努める。



補助費等の分析欄

特に一部事務組合(ごみ・し尿処理施設)への負担金と企業会計(病院・上下水道)への補助金が大きく、類似団体平均値を13.2ポイントも上回る要因になっている。今後については、集中改革プランに掲げた補助金の適正化と整理統合などの取り組みにより、補助費全体の縮減を図っていく。

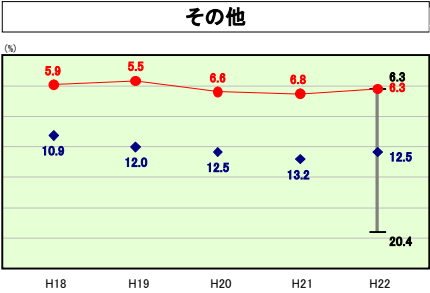
また、企業会計においては「公的資金補償金免除繰上償還に係る公営企業経営健全化計画」を確実に実行し、経営の安定化に努めることにより普通会計の負担を軽減していくように努める。



扶助費の分析欄

類似団体平均値より1.5ポイント低い水準となっているが、特に児童福祉(子ども手当、保育所運営委託)と心身障害者福祉(障害者自立支援関係)にかかる経費が増加しており、今後も増加していくものと思われる。

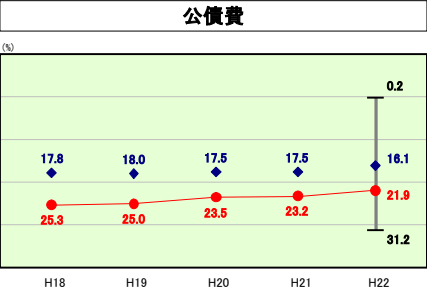
集中改革プランの確実な実行により、財源を確保していく必要がある。



その他の分析欄

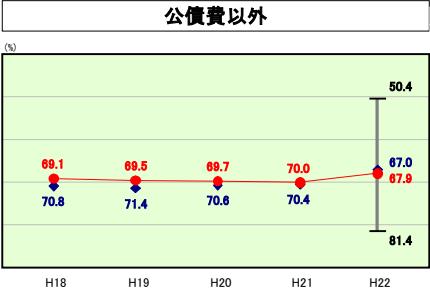
その他に係る経常収支比率は繰上金であり、類似団体平均値より6.2ポイント低い水準となっている。

今後、特に介護保険事業や後期高齢者医療事業の繰上金が増加していくものと推測される。



公債費の分析欄

平成5年度以降の庁舎・ホール・広場の建設事業を始めとして、町営住宅・農村公園・CATV整備など大規模事業が続いたため、類似団体平均値を5.8ポイント上回っている。しかし、公債費負担適正化計画に沿った繰上償還の実施、新規発行債の抑制を行ってきたことにより徐々にではあるが減少している。引き続き、繰上償還の実施と新規発行債の抑制に努め、平成25年度決算において実質公債費比率では18.0%を下回るとともに、公債費に係る経常収支比率を現在の類似団体平均値の水準に近づける。



公債費以外の分析欄

公債費以外の合計での比較では、類似団体平均値とほぼ同水準であるが、特にその中でも「補助費等」の比率が大きい。

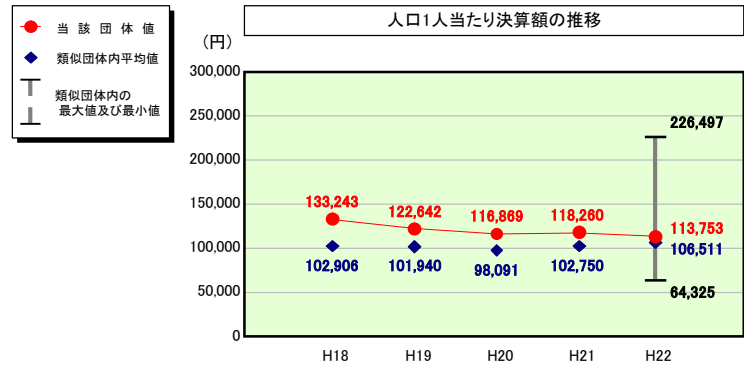
公債費を除く繰上金全体の中で、集中改革プランに沿った削減を行うこととしている。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

兵庫県神戸市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



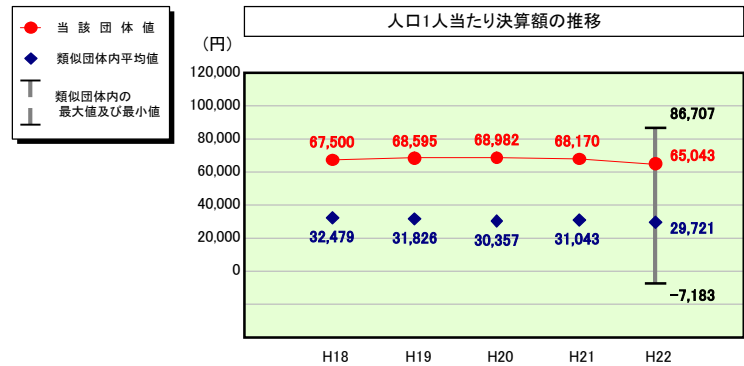
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,376,774	107,965	88,358	22.2
賃金(物件費)	128,888	10,107	8,888	13.7
一部事務組合負担金(補助費等)	17,315	1,358	12,984	▲89.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	25,286	1,983	689	187.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	15	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	60,310	4,729	3,969	19.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	371	29	1,893	▲98.5
▲退職金	▲158,361	▲12,419	▲10,284	20.8
合計	1,450,583	113,753	106,511	6.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11.21	10.22	0.99
ラスパイレ指数	98.1	94.3	3.8

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

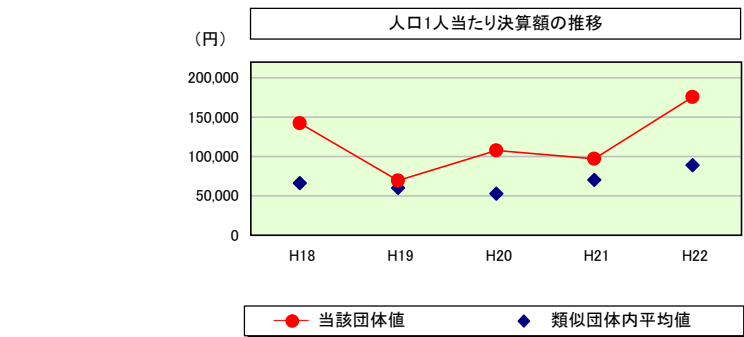


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,263,787	99,105	55,952	77.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	643,804	50,487	15,137	233.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担 金に充当する一般財源等額	142,623	11,184	5,889	89.9
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する 一般財源等額	1,106	87	1,487	▲94.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	881	69	25	176.0
▲特定財源の額	▲69,889	▲5,481	▲2,684	104.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲1,152,888	▲90,408	▲46,085	96.2
合計	829,424	65,043	29,721	118.8

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

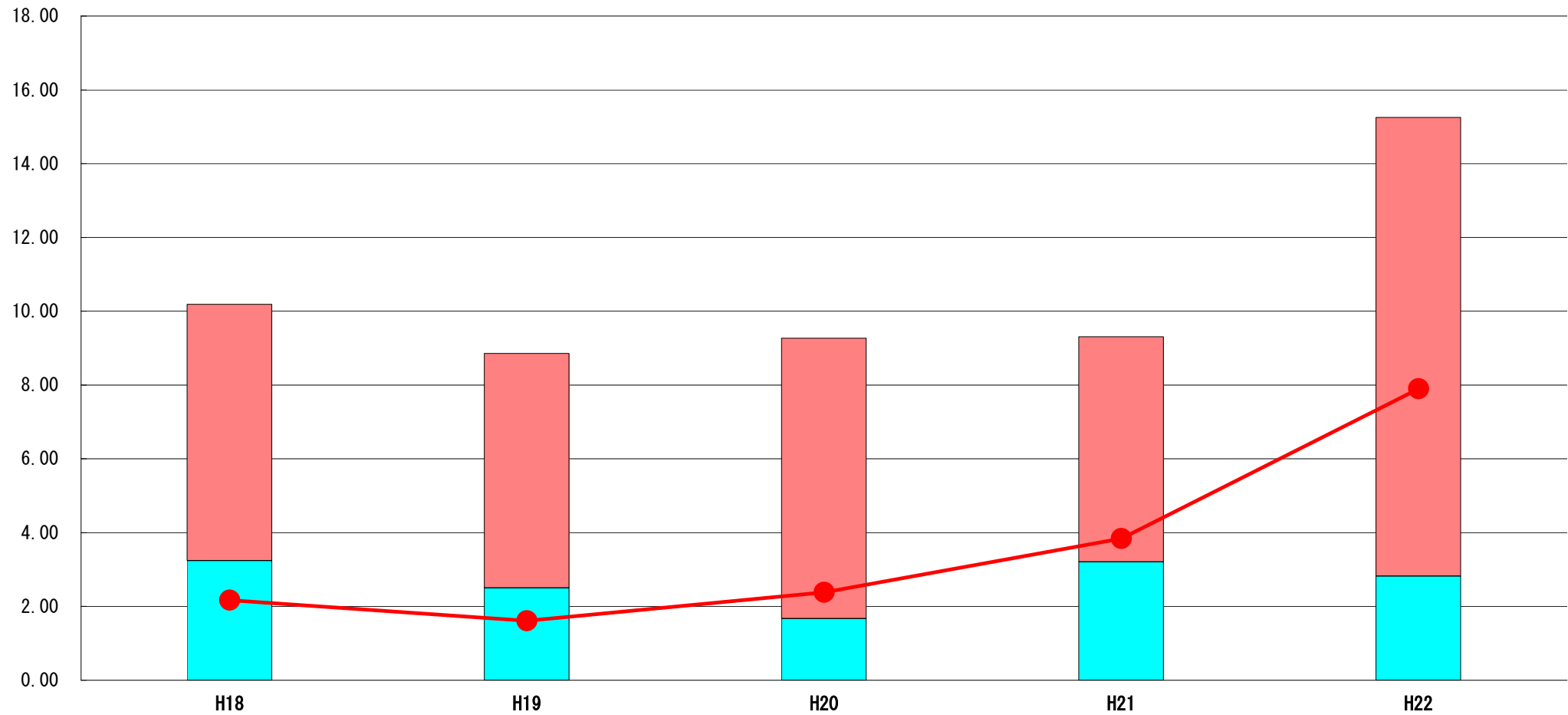
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H18	1,903,384	142,277	74.4	66,287	17.8	56.6
うち単独分	984,536	73,594	66.9	36,581	▲1.9	68.8
H19	915,287	69,377	▲51.2	60,088	▲9.4	▲41.8
うち単独分	265,645	20,135	▲72.6	30,773	▲15.9	▲56.7
H20	1,407,367	107,960	55.6	52,940	▲11.9	67.5
うち単独分	532,511	40,849	102.9	28,496	▲7.4	110.3
H21	1,257,995	97,360	▲9.8	70,254	32.7	▲42.5
うち単独分	606,482	46,938	14.9	41,764	46.6	▲31.7
H22	2,238,230	175,520	80.3	89,245	27.0	53.3
うち単独分	574,459	45,049	▲4.0	42,966	2.9	▲6.9
過去5年間平均	1,544,453	118,499	29.9	67,763	11.2	18.7
うち単独分	592,727	45,313	21.6	36,116	4.9	16.7

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成22年度

兵庫県神河町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
財政調整基金残高		6.95	6.36	7.60	6.10	12.43
実質収支額		3.24	2.50	1.67	3.21	2.82
実質単年度収支		2.17	1.61	2.38	3.84	7.90

分析欄

財政調整基金は、平成22年度で3.56億円を積立てたため平成22年度末残高は6.76億円となり、増加しています。

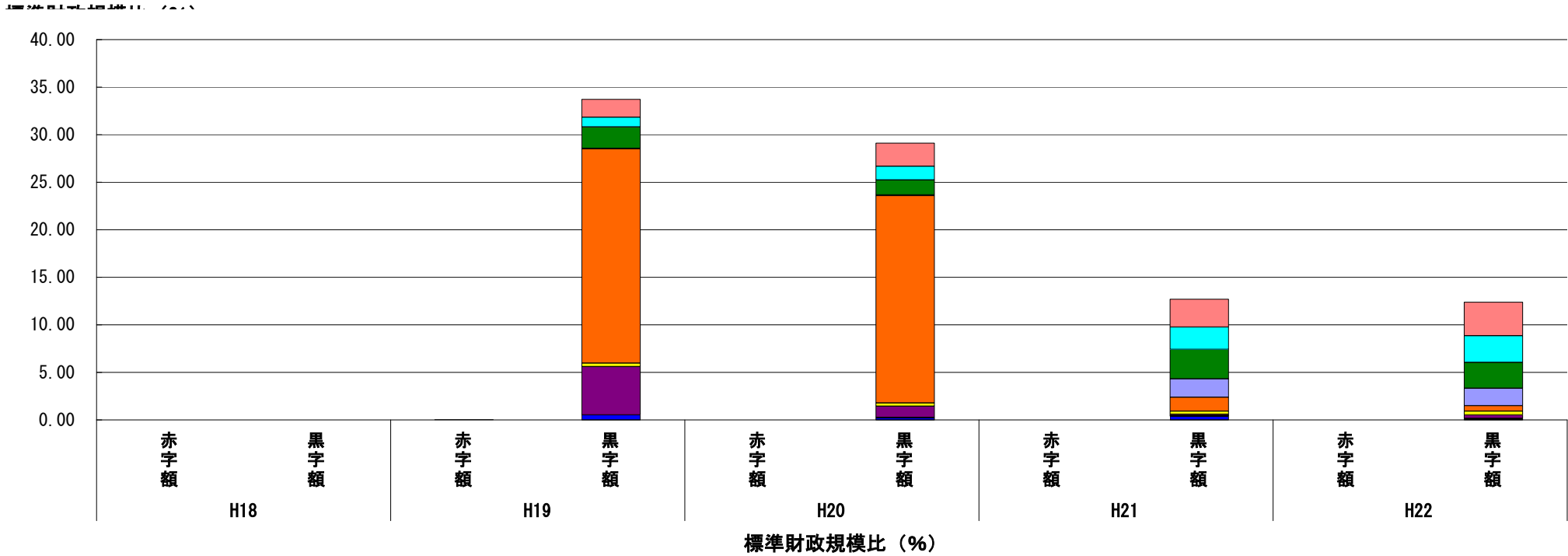
平成22年度の実質収支額は、歳入96.74億円から歳出94.14億円を差し引いた金額から、さらに翌年度への繰越財源1.07億円を差し引いた1.53億円が黒字ということになり、これを比率で表すと2.82%となります。

実質収支額及び実質単年度収支ともに、平成18年度以降、黒字決算が続いており、健全な財政運営が行われているということになります。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

兵庫県神河町



年度		H18	H19	H20	H21	H22
会計						
水道事業会計		-	1.88	2.44	2.94	3.54
下水道事業会計		-	1.02	1.44	2.35	2.81
一般会計		-	2.26	1.56	3.08	2.71
国民健康保険事業特別会計		-	0.05	0.08	1.96	1.84
土地開発事業特別会計		-	22.54	21.80	1.46	0.57
老人訪問看護事業特別会計		-	0.37	0.34	0.31	0.39
公立神崎総合病院事業会計		-	5.07	1.18	0.14	0.36
介護療育支援事業特別会計		-	▲ 0.01	0.07	0.09	0.08
その他会計（赤字）		-	▲ 0.02	-	-	-
その他会計（黒字）		-	0.52	0.20	0.37	0.09

分析欄

予算の確実な執行により黒字及び企業会計における資金剰余額が確実に発生しており、健全な財政運営・企業経営が行われています。

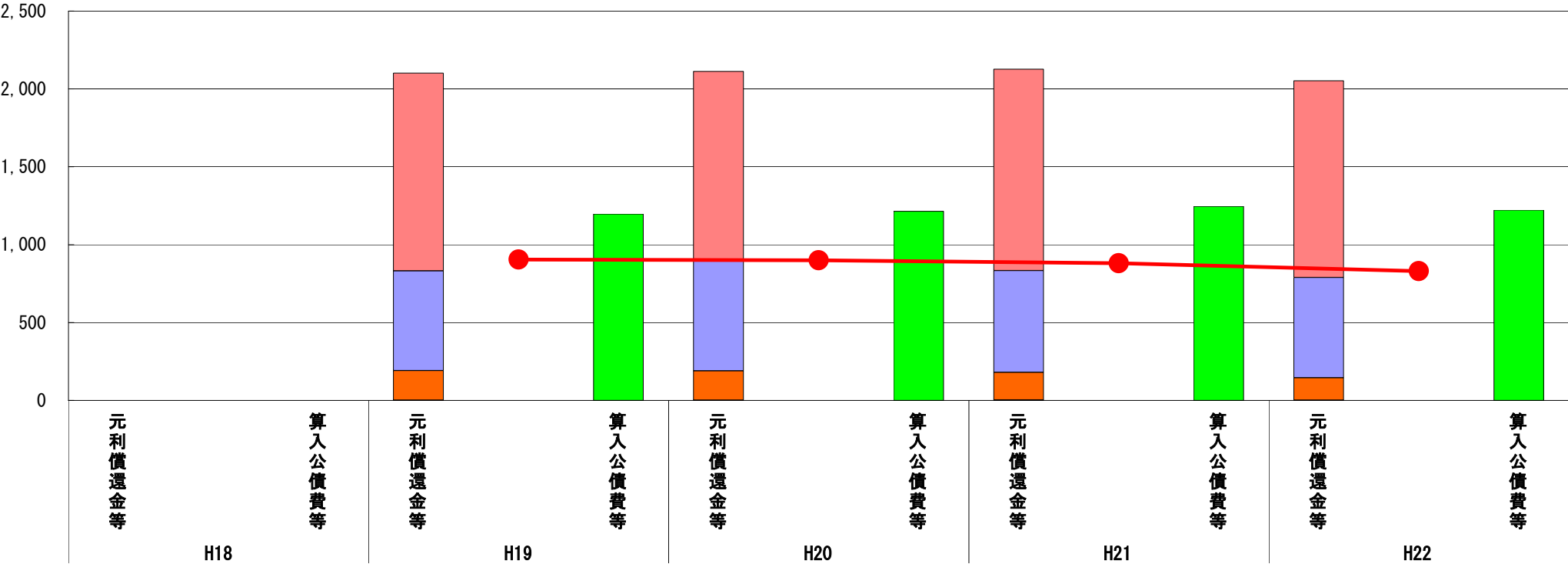
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

兵庫県神河町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金		-	1,269	1,214	1,294	1,264
	積立不足額考慮算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		-	640	709	652	644
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	190	189	178	143
	債務負担行為に基づく支出額		-	1	1	1	1
	一時借入金利息		-	1	0	2	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等		-	1,197	1,214	1,246	1,223
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		-	904	899	881	830

分析欄
公債費負担適正化計画の着実な実行により元利償還金等(A)のうち、普通会計の元利償還金と公営企業債の元利償還金に対する繰入金が減少しています。
平成25年度決算において実質公債費比率18%未満達成に向けて、引き続き公債費負担適正化計画を確実に実行していきます。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

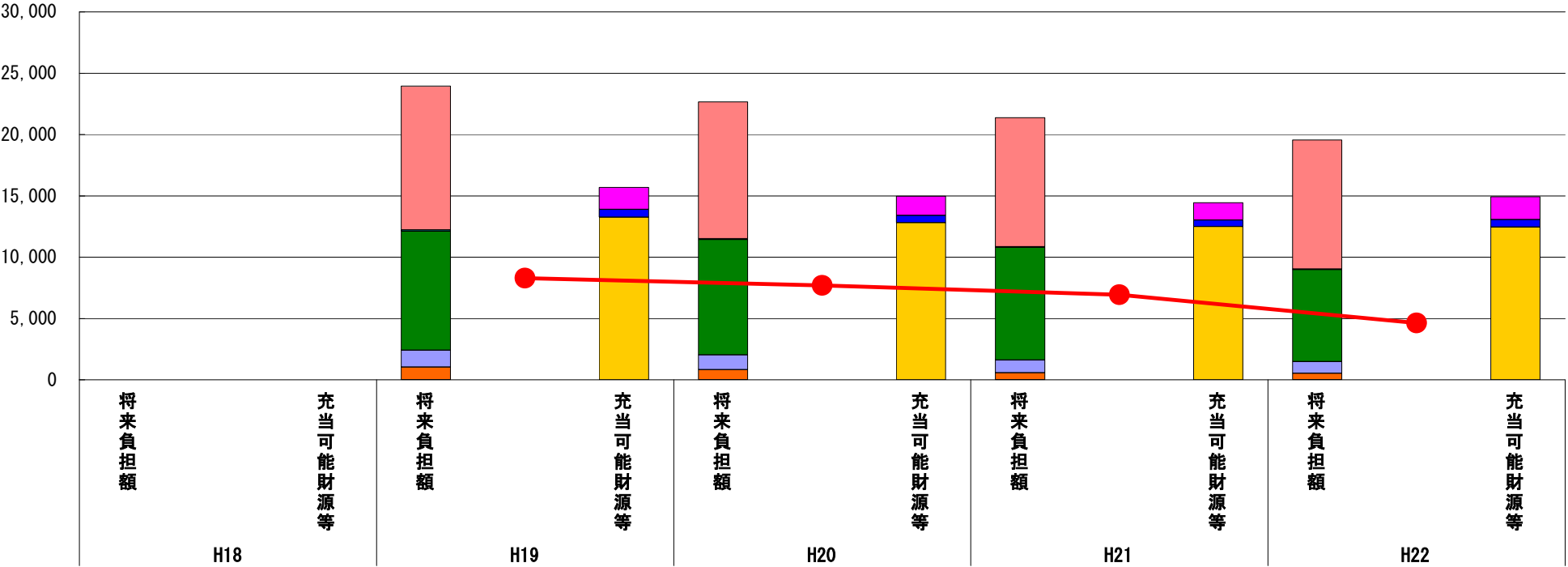
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

兵庫県神河町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度				
		H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	11,750	11,161	10,537	10,540
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	103	70	46	37
	公営企業債等繰入見込額	-	9,699	9,411	9,192	7,502
	組合等負担等見込額	-	1,371	1,198	1,034	954
	退職手当負担見込額	-	1,041	823	569	527
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	1,788	1,569	1,415	1,852
	充当可能特定歳入	-	646	597	523	621
	基準財政需要額算入見込額	-	13,250	12,805	12,500	12,450
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	8,280	7,692	6,940	4,637

分析欄

将来負担額 (A) が大きく減少したのは、公営企業債等繰入見込額が償還終了などにより減少したのが主な要因である。今後も普通会計を含め地方債の現在高は減少していくものと推測される。

一方、充当可能財源等 (B) が増加しているのは、充当可能基金のうち財政調整基金が増加しているのが要因であるが、これは一時的なものであって、あてにできない。今後、充当可能財源は減少していくものと推測される。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。